



学校だより

《学校教育目標》 (知) 主体的に学ぶ生徒
(徳) 正しく判断できる生徒
(体) 心身を鍛える生徒

<No. 5> 令和8年8月26日

さいたま市立白幡中学校

〒336-0022 さいたま市南区白幡2-18-13
TEL 048-861-3203 (学校)
866-5789 (相談室)
<https://shirahata-j.saitama-city.ed.jp>

中学生はなぜ勉強しなければならないのか

校長 小倉 弘一

長年、学校現場で中学生を指導した中で、これまで幾度となく、生徒たちから「先生、なぜ僕(私)たち中学生は勉強しなきゃいけないんですか?」と質問されてきました。そして、不満気な生徒の質問は次のように続きます。「どうせ因数分解や歴史の年号を覚えてって、大人になってから実生活で使わないじゃないですか!」と。

現在、放映されているNHKの朝の連続テレビ小説「風、薫る」の一場面で、見上 愛さんが演じる主人公の少女に対して、その父親は、人が学ぶ意義について、次のように優しく語りました。

学ぶことは、時に世を渡る翼となり、身を守る刀となる。



天に磨かれた青空に夏の綿雲が浮かぶ

ドラマの舞台である100年以上前の日本(明治時代)は、現在よりも貧富の差が激しく、江戸時代から慣習として続いていた家柄や血統による差別も激しかった背景があり、識字率(全ての国民の中で、文字を読み書きできる人の割合)が低かった時代です。虐げられていた人々が自分の人権や平等を手に入れるためには、まず最低限の学問を身に付ける必要があったけれど、それができなかった時代でした。

このセリフは、今も、そしてこれからの時代の中学生にも当てはまると思います。いま世界は、グローバル情勢の混迷、不確実性の高まり、生成AI等の進展に伴う負の側面、世界的な異常気象などの課題に直面し、一人ひとり自らの人生を舵取りする力を身に付けなければならないからです。

さて、年間で最も登校日数の多い2学期が始まりました。2学期は授業数が全部で420コマあります。白中生の一人ひとりが、学ぶ意義を自分事として捉え、前向きに努力をして、精錬し、「生きる力」を身に付ける有意義な81日間(2学期の授業日数)にしてほしいと願っています。

本校学校ホームページの「今週の1枚」コーナーにて、本校生徒の学校教育活動の様子を写真入りで紹介しています。おおむね一週間に一回程度のペースで更新しています。是非ご覧ください。※ユーザー名とパスワードは、スクリーンでお知らせします。

